

科目	数学特講B (Mathematics B)		
担当教員	横山 卓司 教授		
対象学年等	全学科・5年・前期・選択・1単位【講義】(学修単位I)		
学習・教育目標	C3(80%), D2(20%)		
授業の概要と方針	線形代数学を中心とした数学について、これまで習得した内容を復習し、実践的な演習を行う。		
	到達目標	達成度	到達目標別の評価方法と基準
1	【C3】ベクトルや行列の計算,連立方程式の解法,行列式の計算を理解し,問題が解ける		試験で評価する
2	【C3】ベクトル空間や線型写像の理論を理解し,問題が解ける		試験で評価する
3	【C3】行列の対角化や二次形式について理解し,問題が解ける		試験で評価する
4	【D2】様々な現象と数学の対応を題材とした応用問題が解ける		試験で評価する
5			
6			
7			
8			
9			
10			
総合評価	成績は,試験100% として評価する.試験成績は中間試験と定期試験の平均とする.100点満点で60点以上を合格とする.		
テキスト	「演習 線形代数 改訂版」:村上 正康・野澤 宗平・稲葉 尚志 共著(培風館)		
参考書	「線形代数学 初歩からジョルダン標準形へ」:三宅 敏恒 著(培風館) 「線形代数の演習」:三宅 敏恒 著(培風館) 「キーポイント線形代数」:薩摩 順吉・四ツ谷 晶二(岩波書店) 「大学編入のための数学問題集」:碓氷 久 (大日本図書)		
関連科目	1~3年の数学,4年の応用数学		
履修上の注意事項	参考書に挙げた書籍は全部買い揃える必要はない. 必要な時に図書館で参照するとよい.		

授業計画(数学特講B)

	テーマ	内容(目標・準備など)
1	線型代数の基本計算	用語や表記の確認を行う。線型代数で基本技術とされる行列の簡約化, 行列式の計算, 固有値の求め方を確認する。
2	ベクトルの復習と行列の計算	ベクトルの内積と正射影, および外積と面積・体積の関係などについて演習する。行列の計算, 逆行列, およびケーリー・ハミルトンの定理などについて演習する。
3	連立一次方程式	連立一次方程式の解法について演習する。
4	行列の簡約化と階数	ベクトルの一次関係, および行列の階数などについて演習する。
5	行列式	行列式の計算, 余因子を用いた逆行列の計算などについて演習する。
6	ベクトル空間	ベクトル空間の定義を確認する。多項式の作るベクトル空間などについて演習する。
7	内積空間	直交補空間, グラム・シュミットの正規直交化法, および正射影ベクトルなどについて演習する。
8	中間試験	前半で学んだ内容について試験する。
9	線型写像	核Ker と像Im, 線型写像の表現行列などについて演習する。
10	固有値・固有ベクトル・固有空間	行列の固有値, 固有ベクトル, 固有空間などについて演習する。
11	行列の対角化	対称行列の直交行列による対角化などについて演習する。
12	二次形式の標準形	二次形式の標準形, および正定値などについて演習する。
13	行列のn乗	行列のn乗などについて演習する。
14	行列の応用1	行列を題材にした応用問題について演習する。
15	行列の応用2	行列を題材にした応用問題について演習する。
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		
備考	前期中間試験および前期定期試験を実施する。 再試験を実施することがある。	